

トップニュース

日常の中にある
ビハラの種を見出す



親鸞聖人御誕生850年 慶讃法要記念
立教開宗800年

**ビハラの種を見出す
全国集会**

2024.1.27日-28日

西本願寺阿弥陀堂・法話会館

参加費 300円 10,000円 10,000円

申込締切 2023年12月1日(日)

申込先 西本願寺阿弥陀堂・法話会館

申込先 西本願寺阿弥陀堂・法話会館

親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要記念

ビハラの活動全国集会

本山で1月27、28日に開催 申込締め切りは12月1日

第18回ビハラの活動全国集会が親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要記念として、来年1月27、28日に本山で開催される。現在、参加者を募集中。申し込みの締め切りは12月1日。

テーマは「日常の中にあるビハラの種を見出す」。

27日には、慶應義塾大学経済学部教授の井手英策さんが基調講演。「ライフセキユリティ」〈希望と責任を分かち合う社会〉への提言と題し、過疎・過密問題などから日本社会や地域社会の在り方を考え、お寺やビハラの活動がこれからの社会になさるべき重要な役割を示していく。この後、ビハラの活動推進委員会・成田智信さん(東京教区ビハラの代表)との対談へと続く。また、夜には法話会館で意見交換会を行う。

28日は分科会を開催。12のテーマを設け、参加者それぞれが活動や興味に合わせた学びを準備。テーマは次の通り。①ビハラの入門講座②障害者とともに③子どもを支える④災害支援⑤医療におけるビハラの役割⑥高齢者ケア⑦地域コミュニティ⑧お寺におけるビハラの活動⑨浄土真宗のみ教えとビハラの活動⑩教区ビハラの活性化⑪グリー

「日常の中にあるビハラの種を見出す」。

第18回ビハラの活動全国集会が親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要記念として、来年1月27、28日に本山で開催される。現在、参加者を募集中。申し込みの締め切りは12月1日。

テーマは「日常の中にあるビハラの種を見出す」。

27日には、慶應義塾大学経済学部教授の井手英策さんが基調講演。「ライフセキユリティ」〈希望と責任を分かち合う社会〉への提言と題し、過疎・過密問題などから日本社会や地域社会の在り方を考え、お寺やビハラの活動がこれからの社会になさるべき重要な役割を示していく。この後、ビハラの活動推進委員会・成田智信さん(東京教区ビハラの代表)との対談へと続く。また、夜には法話会館で意見交換会を行う。

28日は分科会を開催。12のテーマを設け、参加者それぞれが活動や興味に合わせた学びを準備。テーマは次の通り。①ビハラの入門講座②障害者とともに③子どもを支える④災害支援⑤医療におけるビハラの役割⑥高齢者ケア⑦地域コミュニティ⑧お寺におけるビハラの活動⑨浄土真宗のみ教えとビハラの活動⑩教区ビハラの活性化⑪グリー

「日常の中にあるビハラの種を見出す」。

第18回ビハラの活動全国集会が親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要記念として、来年1月27、28日に本山で開催される。現在、参加者を募集中。申し込みの締め切りは12月1日。

テーマは「日常の中にあるビハラの種を見出す」。

27日には、慶應義塾大学経済学部教授の井手英策さんが基調講演。「ライフセキユリティ」〈希望と責任を分かち合う社会〉への提言と題し、過疎・過密問題などから日本社会や地域社会の在り方を考え、お寺やビハラの活動がこれからの社会になさるべき重要な役割を示していく。この後、ビハラの活動推進委員会・成田智信さん(東京教区ビハラの代表)との対談へと続く。また、夜には法話会館で意見交換会を行う。

28日は分科会を開催。12のテーマを設け、参加者それぞれが活動や興味に合わせた学びを準備。テーマは次の通り。①ビハラの入門講座②障害者とともに③子どもを支える④災害支援⑤医療におけるビハラの役割⑥高齢者ケア⑦地域コミュニティ⑧お寺におけるビハラの活動⑨浄土真宗のみ教えとビハラの活動⑩教区ビハラの活性化⑪グリー

「日常の中にあるビハラの種を見出す」

「日常の中にあるビハラの種を見出す」。

第18回ビハラの活動全国集会が親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要記念として、来年1月27、28日に本山で開催される。現在、参加者を募集中。申し込みの締め切りは12月1日。

テーマは「日常の中にあるビハラの種を見出す」。

27日には、慶應義塾大学経済学部教授の井手英策さんが基調講演。「ライフセキユリティ」〈希望と責任を分かち合う社会〉への提言と題し、過疎・過密問題などから日本社会や地域社会の在り方を考え、お寺やビハラの活動がこれからの社会になさるべき重要な役割を示していく。この後、ビハラの活動推進委員会・成田智信さん(東京教区ビハラの代表)との対談へと続く。また、夜には法話会館で意見交換会を行う。

28日は分科会を開催。12のテーマを設け、参加者それぞれが活動や興味に合わせた学びを準備。テーマは次の通り。①ビハラの入門講座②障害者とともに③子どもを支える④災害支援⑤医療におけるビハラの役割⑥高齢者ケア⑦地域コミュニティ⑧お寺におけるビハラの活動⑨浄土真宗のみ教えとビハラの活動⑩教区ビハラの活性化⑪グリー

「日常の中にあるビハラの種を見出す」。

第18回ビハラの活動全国集会が親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要記念として、来年1月27、28日に本山で開催される。現在、参加者を募集中。申し込みの締め切りは12月1日。

テーマは「日常の中にあるビハラの種を見出す」。

27日には、慶應義塾大学経済学部教授の井手英策さんが基調講演。「ライフセキユリティ」〈希望と責任を分かち合う社会〉への提言と題し、過疎・過密問題などから日本社会や地域社会の在り方を考え、お寺やビハラの活動がこれからの社会になさるべき重要な役割を示していく。この後、ビハラの活動推進委員会・成田智信さん(東京教区ビハラの代表)との対談へと続く。また、夜には法話会館で意見交換会を行う。

28日は分科会を開催。12のテーマを設け、参加者それぞれが活動や興味に合わせた学びを準備。テーマは次の通り。①ビハラの入門講座②障害者とともに③子どもを支える④災害支援⑤医療におけるビハラの役割⑥高齢者ケア⑦地域コミュニティ⑧お寺におけるビハラの活動⑨浄土真宗のみ教えとビハラの活動⑩教区ビハラの活性化⑪グリー

「日常の中にあるビハラの種を見出す」。

第18回ビハラの活動全国集会が親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要記念として、来年1月27、28日に本山で開催される。現在、参加者を募集中。申し込みの締め切りは12月1日。

テーマは「日常の中にあるビハラの種を見出す」。

27日には、慶應義塾大学経済学部教授の井手英策さんが基調講演。「ライフセキユリティ」〈希望と責任を分かち合う社会〉への提言と題し、過疎・過密問題などから日本社会や地域社会の在り方を考え、お寺やビハラの活動がこれからの社会になさるべき重要な役割を示していく。この後、ビハラの活動推進委員会・成田智信さん(東京教区ビハラの代表)との対談へと続く。また、夜には法話会館で意見交換会を行う。

28日は分科会を開催。12のテーマを設け、参加者それぞれが活動や興味に合わせた学びを準備。テーマは次の通り。①ビハラの入門講座②障害者とともに③子どもを支える④災害支援⑤医療におけるビハラの役割⑥高齢者ケア⑦地域コミュニティ⑧お寺におけるビハラの活動⑨浄土真宗のみ教えとビハラの活動⑩教区ビハラの活性化⑪グリー

ビハラの新型コロナで活動転換
念珠を再生し販売 笑顔募金へ

「ビハラの種を見出す」。

第18回ビハラの活動全国集会が親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要記念として、来年1月27、28日に本山で開催される。現在、参加者を募集中。申し込みの締め切りは12月1日。

テーマは「日常の中にあるビハラの種を見出す」。

27日には、慶應義塾大学経済学部教授の井手英策さんが基調講演。「ライフセキユリティ」〈希望と責任を分かち合う社会〉への提言と題し、過疎・過密問題などから日本社会や地域社会の在り方を考え、お寺やビハラの活動がこれからの社会になさるべき重要な役割を示していく。この後、ビハラの活動推進委員会・成田智信さん(東京教区ビハラの代表)との対談へと続く。また、夜には法話会館で意見交換会を行う。

28日は分科会を開催。12のテーマを設け、参加者それぞれが活動や興味に合わせた学びを準備。テーマは次の通り。①ビハラの入門講座②障害者とともに③子どもを支える④災害支援⑤医療におけるビハラの役割⑥高齢者ケア⑦地域コミュニティ⑧お寺におけるビハラの活動⑨浄土真宗のみ教えとビハラの活動⑩教区ビハラの活性化⑪グリー



「ビハラの種を見出す」。

第18回ビハラの活動全国集会が親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要記念として、来年1月27、28日に本山で開催される。現在、参加者を募集中。申し込みの締め切りは12月1日。

テーマは「日常の中にあるビハラの種を見出す」。

27日には、慶應義塾大学経済学部教授の井手英策さんが基調講演。「ライフセキユリティ」〈希望と責任を分かち合う社会〉への提言と題し、過疎・過密問題などから日本社会や地域社会の在り方を考え、お寺やビハラの活動がこれからの社会になさるべき重要な役割を示していく。この後、ビハラの活動推進委員会・成田智信さん(東京教区ビハラの代表)との対談へと続く。また、夜には法話会館で意見交換会を行う。

28日は分科会を開催。12のテーマを設け、参加者それぞれが活動や興味に合わせた学びを準備。テーマは次の通り。①ビハラの入門講座②障害者とともに③子どもを支える④災害支援⑤医療におけるビハラの役割⑥高齢者ケア⑦地域コミュニティ⑧お寺におけるビハラの活動⑨浄土真宗のみ教えとビハラの活動⑩教区ビハラの活性化⑪グリー

「ビハラの種を見出す」。

第18回ビハラの活動全国集会が親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要記念として、来年1月27、28日に本山で開催される。現在、参加者を募集中。申し込みの締め切りは12月1日。

テーマは「日常の中にあるビハラの種を見出す」。

27日には、慶應義塾大学経済学部教授の井手英策さんが基調講演。「ライフセキユリティ」〈希望と責任を分かち合う社会〉への提言と題し、過疎・過密問題などから日本社会や地域社会の在り方を考え、お寺やビハラの活動がこれからの社会になさるべき重要な役割を示していく。この後、ビハラの活動推進委員会・成田智信さん(東京教区ビハラの代表)との対談へと続く。また、夜には法話会館で意見交換会を行う。

28日は分科会を開催。12のテーマを設け、参加者それぞれが活動や興味に合わせた学びを準備。テーマは次の通り。①ビハラの入門講座②障害者とともに③子どもを支える④災害支援⑤医療におけるビハラの役割⑥高齢者ケア⑦地域コミュニティ⑧お寺におけるビハラの活動⑨浄土真宗のみ教えとビハラの活動⑩教区ビハラの活性化⑪グリー

花頭窓（日野誕生院）

京都府伏見区にある本願寺の飛地境内、日野誕生院の「花頭窓」です。

江戸時代後期、親鸞聖人誕生ゆかりの地に誕生院が建立されました。その誕生院が1931年に「日野誕生院」と改称され、併せて本堂が落成し、現在に至ります。

今回の写真は、境内三方に巡らされた回廊の南側に面した位置から撮影した風景です。敷地の南側境内に色づく紅葉を、このように眺めることができるのはこの時期ならでは。

紹介写真では、花頭窓ではなく奥の景色にピントを合わせていますが、窓

西本願寺の風景

四季折々に境内を歩いて

本願寺出版社刊 1650円(税込)

逢坂憲吾さんが約5年にわたり撮り重ねた本願寺の風景をまとめた写真集。お求めは本願寺出版社注文専用フリーダイヤル0120-464-583。

逢坂憲吾の
四季折々に
境内を歩いて

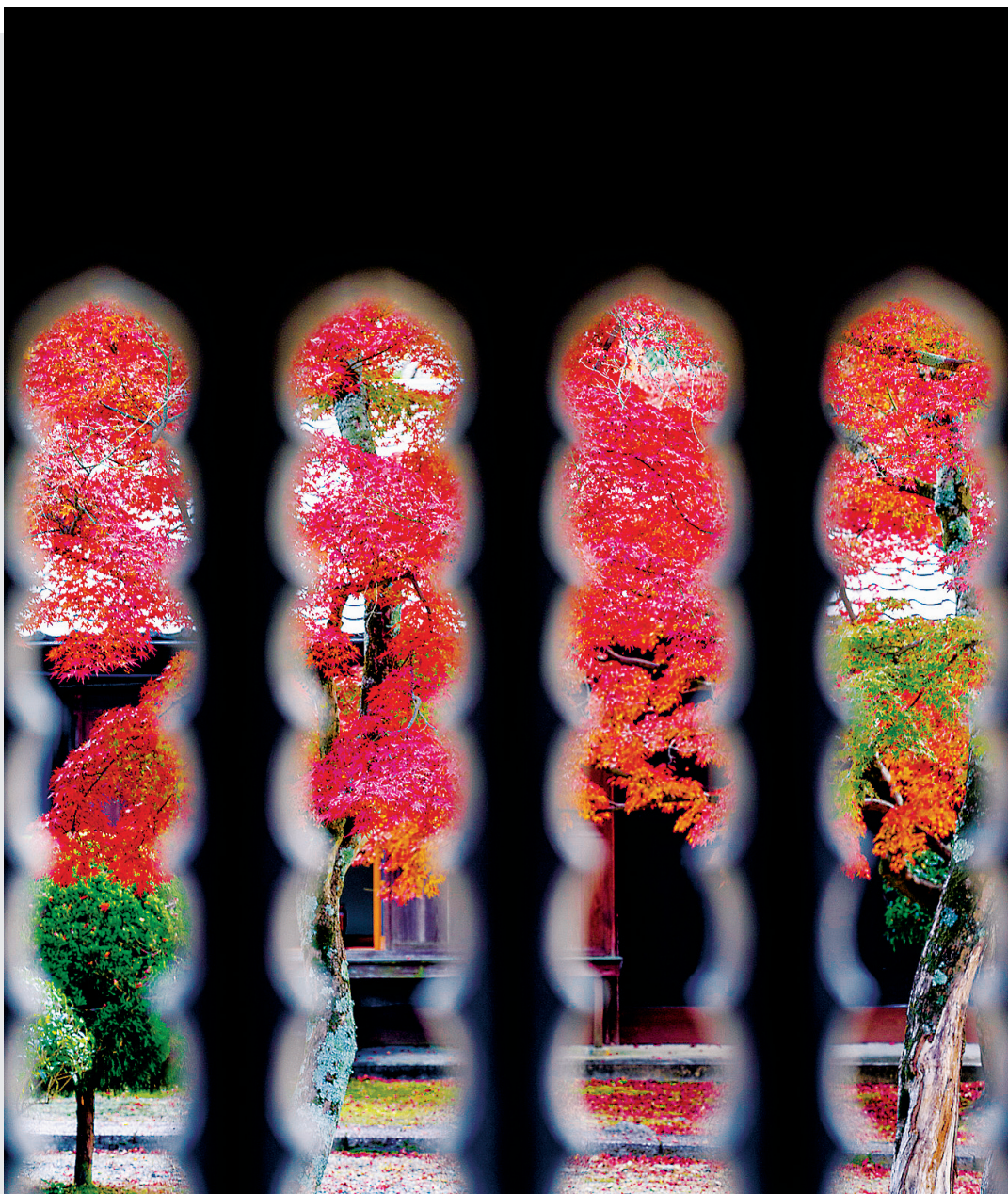
にピントを合わせ景色をボケさせると、窓内が色にじむ美しい写真になります。

窓を利用することで1度に2種類のイメージが撮影できるのが、この場所の撮影ポイントでもあります。

日野誕生院は、京都市内から少し離れた伏見・日野の山すそにあるためか、参拝者の人影もまばらなため、季節ごとに色づく木々や花々をゆったり眺めることができ、心穏やかに過ごせる場所です。

紅葉だけではなく、夏の新緑も美しいですし、4月末から5月には境内入口の藤も美しい花をつけます。ご本山や大谷本廟にご参拝の折には、ぜひ足を伸ばしていただきたい場所です。

使用機材 GF50S SIGMA135mm F1.8 DG HSM(マウントアダプター接続)
撮影データ f6.4 SS1/80 ISO800 2019年11月29日撮影



本願寺新報

hongwanji journal

11月10日(金曜日)

毎月1日・10日・20日発行

発行所 本願寺新報社

京都市下京区堀川通花屋町下ル 浄土真宗本願寺派(西本願寺)
〒600-8501 本願寺出版社内
電話 075(371)4171(代) / FAX075(341)7753

茶道 敷内家燕庵

京都市下京区西洞院正面下ル

http://www.yabunouchi-ennan.or.jp

新しい「領解文」
(浄土真宗のみ教え)

南無阿弥陀仏

「われにまかせよ そのまま救う」の 弥陀のよび声
私の煩悩と仏のさとりの 本来一つゆえ
「そのまま救う」が 弥陀のよび声
ありがとう といったいて
この愚身をまかす このままで
救い取られる 自然の浄土
仏恩報謝の お念仏

これもひとえに
宗祖親鸞聖人と
法灯を伝承された 歴代宗主の
尊いお導きに よるものです

み教えを依りどころに生きる者 となり
少しづつ 執われの心を 離れます
生かされていることに 感謝して
むさばり いかにに 流されず
穏やかな顔と 優しい言葉
喜びも 悲しみも 分かち合い
日々に 精一杯 つとめます

20代後半の俳優がテレビ番組で3年ほど前の闘病生活を語っていた。体調が悪く、診察を受けたその日に心臓疾患がわかって緊急手術。術後も、いつ悪化するかわからない状況が続き、おびえながら病院で1カ月過ごした。

▼死も覚悟した病院のベッドで、死ぬ前にやりたいことを考えたという。しほり出したのが「家族に何かを伝えたい」。そこからは連日「今日も生きたぜー!」「今日も起きたよー!」と母にLINEを送っていたと振り返る。「病気を経て、今までの日常の有り難さみたいなものを感じ、人生が豊かになったなと今は思っている」としみじみと話していた。

▼ところが、その俳優はこんなことも言っていた。「退院して普通に過ごせるようになった今、日常に感謝できているかというと、慣れてしまっている自分がある」と。日常は「当たり前ではなく有り難いもの」と頭ではわかっていながら、気付けば、明日があることが当然のように生きてしていると自省した。

▼「喉元過ぎれば熱さを忘れる」。煩悶するほどの苦しみや痛みも、過ぎてしまえばすっかり忘れてしまうという意味のことわざだが、苦痛だけでなく、そのときに受けた恩も忘れてしまうという意味もあるらしい。私たちの日常は、見えないところで多くの人に支えられている。毎日たくさんの恩を受けているようなものだ。日々の忙しさと自分の都合ばかりで忘れがちだが、それを思い出させてくれる有り難い縁に会わせてもらった。

赤光 白光

ロングセラー書籍! 仏教が楽しくなる本!

くらしの仏教語豆事典

〈上巻〉276頁/〈下巻〉240頁/文庫判 各 660円(税込)

文 辻本 敬順 絵 寄藤 文平

私たちのくらしの中に溶け込んでいる
日常語の元をたどれば、
あれも、これも、
仏教語だった!!

いままで知らなかった、ことばの「ほんとう」の意味をわかりやすく解説した全225話。日本のくらしと仏教がいかに関連深いかかわかります!

見開き
2ページ
完結だから、
どこからでも
読める!



本願寺出版社 0120-464-583 075-341-7753 発送個包手数料別
〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル(西本願寺) https://hongwanji-shuppan.com/ 税込2,000円以上は無料

旬の味覚にひとひらそえて。

京ゆば 湯葉 弥

京・五条御前東 電話075-311-4157七八
http://www.yubaya.co.jp

修理などについても
お問い合わせ下さい

創業元禄初年

大 笹 屋

京都市左京区聖護院蓮華蔵町3-6

TEL 075-751-6889

FAX 075-751-7304

E-mail:m@ozasaya.com

雅楽用打ち物・経切太鼓
その他宗教用太鼓一式製造元

施設管理は、
オリックスファシリティーズ株式会社

本店 〒600-8385
京都府京都市下京区大宮通仏光寺下五坊大宮町9-9
TEL 075-8411-7550(代表)
FAX 075-8411-7666



KUNGYOKUDO

〒600-8349
京都市下京区堀川通西本願寺前
電話075-3771-0162

加羅・沈香・線香・匂い袋
香老舗 創業文禄二年(1594年)
董玉堂